



消防千葉

2022 No.587 令和4年4・5月号

目次

巻頭言 (千葉県防災危機管理部長)	2
令和3年度定時理事会・臨時評議員会	3
令和4年度事業計画	4・5
令和4年度主要行事予定	6
第172期消防職員初任科卒業式	7
第173期消防職員初任科入校式	8
わが町の消防団 (八千代市消防団・千葉市消防団)	9・10
東西南北	11～13
日々の動き	14



ユニモちはら台での火災予防広報 (市原市) 千葉支部

巻 頭 言

地域防災力の向上に向けて

千葉県防災危機管理部長 生稲 芳博



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響下で消防の救急体制が担う役割は依然として大きく、また自然災害においては、激甚化する風水害への対策が求められるほか、頻発する地震により首都直下地震など巨大地震への警戒感が高まっているところであり、県民の安全・安心を守る消防へ寄せられる期待は大きくなっています。

このような中、災害対応で最も重要なことは、過去の災害から得た教訓を学び蓄積し、それらを最大限に生かすとともに、県民が災害から自らを守る「自助」近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことです。

県では、災害から県民を守る「防災県」の確立を目指し、令和4年度から、市町村との連携や災害情報収集体制の強化を図るため、県の防災体制を充実させるとともに、地域特性に応じた新たな団加入促進イベントの実施などの取組を行い地域防災体制の中核である消防団の活性化に努め、地域防災力の向上を強力に推進してまいります。

消防防災体制の整備や、県民向けの防災情報発信と併せて、これらの取組を推し進めることにより、全国屈指の「防災県」を目指してまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全・安心を守るため一層の御協力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政のより円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任2年目の御挨拶とさせていただきます。

令和3年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会

令和4年度事業計画・収支予算等を議決

令和4年3月9日（水）千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。

石橋会長の挨拶の後、令和3年度収支補正予算、令和4年度事業計画及び収支予算など6議案について審議が行われ、全議案について決議されました。

また、3月17日（木）に千葉市内で開催された臨時評議員会においても、全議案について承認されました。

なお、決議・承認された議案並びに令和4年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定等は次のとおりです。

【定時理事会】

◆ 議 案

議案第1号：令和3年度公益財団法人千葉県消防協会の収支補正予算について

議案第2号：令和4年度公益財団法人千葉県消防協会の事業計画について

議案第3号：令和4年度公益財団法人千葉県消防協会の収支予算について

議案第4号：令和4年度公益財団法人千葉県消防協会の資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

議案第5号：公益財団法人千葉県消防協会再雇用規程の制定について

議案第6号：公益財団法人千葉県消防協会評議員会の開催について

◆ 報告事項

○令和3年5月以降の職務の執行状況について

◆ その他

○令和4年度千葉県消防協会の主要行事予定について

○令和4年度日本消防協会の主要行事予定について



石橋会長挨拶



定時理事会



臨時評議員会

令和4年度事業計画

(公財) 千葉県消防協会

近年の自然災害は多様化、大規模化しており、東日本大震災以降も想定を超えた災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。特に、風水害の激甚化が著しく、令和元年の房総半島台風をはじめ、令和2年7月の熊本県を中心とした豪雨災害、令和3年7月に静岡県熱海市で発生した土石流などで多くの人命や財産が失われたところであり、今後についても、大規模な災害の発生が危惧されています。

また、令和2年1月に日本で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束の見通しが立たず、消防・防災活動にも大きな影響を与えています。

そのような中、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としても、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図るため、令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防対策に十分努めながら、引き続き、以下の事業を実施します。

なお、今年度は、消防庁及び日本消防協会の共催による第29回全国消防操法大会が千葉県消防学校で開催予定であるため、円滑な開催に向けて主催者及び地元千葉県・市原市等と連携・協力していきます。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

県民の防火・防災に関する知識と技術の普及啓発、防災訓練等の充実、防火・防災組織の活動促進等を図るための事業

(1) 機関誌「消防千葉」を発行し、常備消防・消防団の活動などの紹介記事等を通じて、消防防災思想の普及啓発を図る。

年8回／各5000部発行

(2) 「千葉県消防操法」(第5次改訂版)を頒布し、千葉県消防操法の技術向上を図る。

(3) 消防庁が提唱する全国火災予防運動に千葉県とともに協力する。

(4) 第43回九都県市合同防災訓練・千葉県会場を、千葉県・開催市との共催により実施する。

(大網白里市)

(5) 火災予防思想の普及・啓発等を図るため、千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法の普及と訓練成果の発表及び消防関係機関の連携・協力等を図るための事業

(1) 消防団幹部を養成するため、消防団員指導員研修を実施するとともに、日本消防協会主催の各種研修会への参加を促進する。

また、千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校(国)の所定の課程を終了又は卒業した者並びに日本消防協会の所定の研修を修了した者に対し、修学奨励金等を交付する。

(2) 消防知識の一層の普及、消防技術の向上のため、各支部で消防操法大会を開催し、千葉県消防操法大会に出場するチームを選抜する。

(3) 第58回千葉県消防操法大会を県と共催で開催する。

(4) 消防庁及び日本消防協会の共催による第29回全国消防操法大会が千葉県消防学校で開催予定であるため、円滑な開催に向けて連携・協力する。(2022.10.29)

なお、全国大会に出場する千葉県代表チームに対し助成する。

(5) 女性消防団員の活性化等を図るため、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムを開催する。

また、第27回全国女性消防団員活性化徳島大会に参加する。(2022.11.22)

(6) 消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のために会議を開催する。

ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催

イ. 地域振興事務所等における消防業務連絡会議の開催

3. 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たし、その職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るための事業

- (1) 第58回千葉県消防殉職者慰霊祭を開催する。
- (2) 日本消防協会主催の第41回全国消防殉職者慰霊祭に参加する。(2022.9.15)

4. 報償事業

消防防災に功労・功績のあったものに対して表彰し、消防士気の高揚等を図るための事業

- ・千葉県消防大会及び消防出初式において、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を実施する。

5. 支部活動事業

各支部が実施する事業

- (1) 支部消防操法大会
各支部管内の消防団による消防操法大会を千葉県との共催で開催し、優勝チームを支部代表として県大会に出場させるために助成及び所要の支援を行う。
- (2) 表彰事業
各支部管内の出初式等において、優秀な消防職・団員を表彰し、その活動を顕彰する。
- (3) 防災思想の普及事業
各支部管内の消防（局）本部・消防団と連携して防災思想の普及を行う。

II 相互扶助事業等

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

消防職・団員等の福利厚生に資するための事業

- (1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、各制度への加入促進を図る。
- (2) 消防団員の健康管理に資するため、日本消防協会の助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

職務において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるための事業

- ・弔慰見舞金等を贈呈する。

3. 退職者報償事業

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功績に報いるための事業

- ・感謝状及び金盃を贈呈する。

4. あっせん事業

消防職・団員の福利厚生を促進するための事業

- ・日本消防協会から提供される各種物品等に係る斡旋を行う。

5. 施設貸与事業

千葉県消防会館を有効利用するための事業

- ・千葉県消防会館の空き室を、消防関係団体等に有償貸与して有効活用を図る。

6. 法人活動事業

協会活動に資するための事業

- ・千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行う。
- ・理事会、評議員会等を開催する。

令和4年度（公財）千葉県消防協会主要行事予定

	行 事 名	日 時	場 所
1	消防学校初任科第173期入校式	4月7日(木)	千葉県消防学校
2	地域振興事務所等における消防事務連絡会議	4月11日(月)	千葉県消防学校
3	千葉県婦人防火クラブ連絡協議会監査	5月10日(火)	千葉県消防学校
4	千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会	5月20日(金)	ポートプラザちば
5	消防協会監事会	5月23日(月)	千葉県消防学校
6	千葉県少年婦人防火委員会監査	5月24日(火)	千葉県消防学校
7	定時理事会	5月25日(水)	ポートプラザちば
8	千葉県少年婦人防火委員会役員会	5月27日(金)	ポートプラザちば
9	定時評議員会・臨時理事会	6月28日(火)	ポートプラザちば
10	第58回千葉県消防操法大会	7月30日(土)予備日8月6日(土)	千葉県消防学校
11	第58回消防長・消防団長会議	8月	市原市市民会館
12	消防学校初任科第173期卒業式	9月15日(木)	千葉県消防学校
13	第41回全国消防殉職者慰霊祭	9月15日(木)	ニッショーホール
14	消防学校初任科第174期入校式	10月4日(火)	千葉県消防学校
15	第43回九都県市合同防災訓練	10月23日(日)	大網白里市
16	第29回全国消防操法大会激励交流会	10月28日(金)	五井グランドホテル
17	第29回全国消防操法大会	10月29日(土)	千葉県消防学校
18	消防団員指導員研修	11月19日(土)～20日(日)	千葉県消防学校
19	第27回全国女性消防団員活性化徳島大会	11月22日(火)	徳島市
20	第58回消防殉職者慰霊祭	11月	千葉県消防学校
21	臨時理事会	12月	千葉市内
22	女性消防団員活性化シンポジウム	令和5年1月	ポートプラザちば
23	婦人防火研修会	令和5年2月8日(水)	千葉県消防学校
24	第75回日本消防協会定例表彰式	令和5年3月3日(金)	ニッショーホール
25	消防学校初任科第174期卒業式	令和5年3月17日(金)	千葉県消防学校
26	定時理事会	令和5年3月中旬	千葉市内
27	臨時評議員会	令和5年3月下旬	千葉市内
28	第73回千葉県消防大会	令和5年3月24日(金)	青葉の森芸術文化ホール

第172期 消防職員初任科生卒業式

千葉県消防学校

令和4年3月18日（金）、千葉県消防学校の消防職員初任科第172期の卒業式が行われました。

10月5日（火）の入校から6か月、26所属126名の消防職員が厳しい研修を通して消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。この間には、新型コロナウイルス（オミクロン株）の第6波によるまん延防止等重点措置が本県にも適用され、学生が濃厚接触者などとして自宅待機になるなど少なからず影響を受けました。

当日は、参加者全員がマスクを着用する中、国歌静聴の後、卒業生の氏名が読み上げられ各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞11名、努力賞12名の表彰が行われました。

その後、山口千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事（代理秋山防災危機管理部次長）・石橋千葉県消防協会長等の祝辞に引き続き、卒業生を代表して安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 鈴木 友三朗君から答辞が述べられ、最後に校歌が静聴され無事終了しました。



山口学校長告辞



知事（秋山防災危機管理部次長）祝辞



石橋会長祝辞



代表答辞（安房郡市 鈴木君）

また、16日（水）には、教育訓練の成果を確認するために午前9時30分から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。

学生集合、通常点検、小隊訓練、体力向上体操、救急訓練、消防操法訓練、救助訓練最後には火災防ぎょ活動の部隊行動を基本として、救出訓練と一斉放水訓練を実施し、初任科で習得した消防活動・救急活動の集大成として、全員により、火災防ぎょ・救急救助技術を披露しました。



学生集合



救急訓練



消防操法訓練



救助訓練



総合活動訓練



一斉放水訓練

第173期 消防職員初任科生入校式

千葉県消防学校

令和4年4月7日(木) 午前11時から千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第173期の入校式が行われ、29所属170名の若々しい学生が入校しました。



これから6か月間の厳しい研修が始まります。当日は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、参加者全員がマスクを着用する中開式のことば、国歌静聴、入校生指名点呼に続いて小平学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事(代理 生稲防災危機管理部長)、石橋消防協会長、白井消防長会長からの祝辞がありました。



続いて、入校生代表(市川市消防局 瀧田裕司君)からの宣誓が行われ、研修に励んで一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。

入校生代表の宣誓
(市川市消防局 瀧田裕司君)



小平学校長の式辞



知事(代理 生稲防災危機管理部長)の祝辞



石橋消防協会長の祝辞



白井消防長会長の祝辞

わが町の消防団 ① 八千代市消防団

八千代市は、千葉県の北西部に位置し、北側半分は、下総台地の緑豊かな自然があります。南側半分は、森を残し緑の景観に配慮した市街地が形成されています。市の中央には八千代市のシンボル「新川」が南北に悠々と流れ、人々は釣りや散策を楽しんでいます。

本市は、首都30キロ圏内と交通の便、自然環境の良さから首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。交通機関として京成本線及び東葉高速線が走り、新しい駅を中心に開発が進み、令和2年3月には人口20万人都市となり今後も発展が見込まれます。



本市消防団は、新谷 等団長以下275名（令和4年4月1日現在）で、団本部及び13分団を組織し消防ポンプ自動車12台、小型動力ポンプ付積載車1台の計13台で運用しております。

活動状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事が活動制限される状況が続いています。例年の活動としましては、月例訓練として、規律訓練や機関運用訓練等を行っています。年間の行事として、4月に辞令交付式、6月に操法大会、10月に警察協力を得て安全運転講習会、11月の消防フェアでは来場者に放水体験や消防車の搭乗体験を行い、イベントの中で消防団員募集のブースを設け減少傾向にある消防団員の確保に努めています。また、年末年始には火災予防として、市内を全分団で巡回しています。



去年は、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった消防出初式については本年1月に規模を縮小して開催し、少しずつではありますが例年の活動を再開しています。

本市消防団には、本部付分団として女性消防団員26名を配置しています。主な活動として、市内の幼年消防クラブの園児に対し防火用の紙芝居を用いた防火指導や小中学校の児童・生徒、市民及び消防団員等に対し救命講習指導を行っています。また、消防本部予防課と共に、火災予防啓発活動事業の一環として個別訪問し住宅用火災警報器の設置状況の確認及び指導を行っています。



近年、複雑多様化する災害や首都直下型地震等が懸念される中、消防団への期待と役割が益々大きくなっていると実感しています。「自分達の町は自分達で守る」という自助・共助の精神のもと消防団員一人ひとりが自らを研鑽し、市民に寄り添いながら、市民の安心・安全を守るため、消防団員一丸となり活動してまいります。

わが町の消防団 ② 千葉市消防団

千葉市は、千葉県のほぼ中央部に位置し、首都東京まで約40kmの地点にあります。

また、県内幹線道路及びJR・私鉄などの鉄道の起点として、さらに情報通信網の起終点として、県都にふさわしい要衝の地にあります。

中央区・花見川区・稲毛区・若葉区・緑区・美浜区の6区からなり、気候は温暖で、緑豊かな下総台地の平坦地におおわれ、その一部は、東京湾に接しており、温暖な気候と肥沃な土地、豊かな緑と水辺など自然環境に大変恵まれています。



千葉市には、令和4年3月1日現在で、976,489人（454,496世帯）の方々が暮らしており、千葉市消防団は現在、663人（R4.4.1現在）の人員で市内全域の安全・安心のため、昼夜を分かたず活動しています。

千葉市消防団は、昭和22年5月1日に政府が発した消防団令を受けて千葉市消防団設置条例が制定され、従来の「千葉市警防団」が「千葉市消防団」に改組されたことによりスタートしました。

さらに翌昭和23年に消防組織法が施行され、「千葉市消防本部」及び「千葉市消防署」が設置されたことに伴い、常備消防と分離し新しい消防団組織として生まれ変わりました。

この時、消防団員の条例定数は1,055名でしたが、以後、町村合併により旧町村の消防団を吸収したことで組織の規模が拡大した結果、昭和30年には定数が1,574名にまで増加したものの、昭和30年代後半から常備消防の充実、社会構造の変化等により、条例定数の削減が行われ、昭和58年に現在の



840名となりました。

消防団の装備につきましては、消防団車両42台、小型消防ポンプ59台（車載含む）、消防団器具置場43箇所、資機材倉庫16箇所等となっており、救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車の導入や消防デジタル無線の配置等、現在も資機材の充実強化を推進しています。



年間の主な活動は、災害活動を始め、5月の機関運用訓練、6月の操法大会、11月の規律訓練等、団員の知識・技術の向上を目的

とした活動を多く実施しています。

また、千葉市消防出初式や、千葉ジェッツ及び千葉ロッテマリーンズの試合、市内各種イベント等に積極的に参加し、消防団入団促進活動にも力を入れています。

さらに、全国的に見ても非常に多い割合で在団する女性消防団員（R4.4.1現在で156人：23%）はPR活動を始め、市民に対する「防災指導」に積極的に取り組んでおり、「地域の防災リーダー」として大活躍しています。

千葉市消防団も、年々団員数が減少傾向にあるため、消防団PRキャラクター「けしびろう」を作成し、消防団PRに役立てるなど、様々な策を講じております。

千葉市消防団では、今後も市民の安心・安全を守り市民から愛され、信頼される組織となっていけるよう一丸となって活動してまいりますので、千葉市消防団をよろしくお願いいたします。



消防団 PR キャラクター
「けしびろう」

東 西 南 北

東 西
南 北

婦人防火クラブと連携して火災予防広報を実施

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、令和3年11月11日(木)と12日(金)の両日、いすみ市役所大原庁舎において、秋季全国火災予防運動に伴う広報活動をいすみ市東婦人防火クラブと合同で実施しました。

婦人防火クラブ員は、来庁者へマスクやウェットティッシュなどの衛生用品を手渡しながら「感染予防と火災予防の両立」を呼び掛けました。

また、消防本部が実施する住宅用火災警報器に関するアンケート調査の呼び掛けにも協力していただき、多くの方々に住宅用火災警報器の適正な設置と維持管理についてPRすることができました。



東 西
南 北

消防団長特別点検、消防団水防工法訓練を実施

野田市消防団

野田市消防団では、令和3年11月14日(日)に、消防団長特別点検及び消防団水防工法訓練を実施しました。

消防団員の士気の高揚と水防工法技術の維持向上及び水防体制の万全を期することを目的として実施したもので、点検では、厳正なる規律の確認を行い、訓練では、数ある工法を方面隊ごとに振り分け、担当する工法の手技を重点的に訓練して確実な技術習得に努めました。

また、災害発生時のトイレの需要に備えるため、市内レンタル業者と「災害時における移動トイレカー及び移動事務室車の供給協力に関する協定」を結んだことから、移動トイレカーの展示も行われ関心を集めました。

今後も訓練を継続することで、消防団と消防署の連携活動に努め、風水害被害の軽減を図ってまいります。



東 西
南 北

秋季消防演習を YouTube で動画投稿

千葉市消防局

千葉市若葉消防署では、令和3年8月から9月にかけて、若葉区内の廃校になった校舎を活用し火災想定訓練を実施しました。

今回は、火災への警戒啓発の一環として行う「秋季消防演習」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般公開とせず、若葉消防署及び航空隊の火災想定訓練の活動をカメラに収め、市民向けにYouTubeにて公開することといたしました。この動画を通じて消防行政への理解を深め、火災予防に対し関心を持って頂くことを目的としています。普段、目にすることができないシーンを意識して撮影し、活動隊員のヘルメットにウェアラブルカメラを装着して撮影する等、臨場感ある動画に仕上げています。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=VVf93MCBOUI>



東西南北 災害協定をより強固なものに！『令和3年度航空救難・トリアージ共同訓練』 柏市消防局

柏市消防局は、令和3年11月16日（火）に海上自衛隊下総教育航空群の協力を得て、緊急着陸した民間航空機の機内に多くの負傷者がいるという想定で、共同訓練を実施しました。

この訓練は、地域防災計画で想定する航空機災害で、哨戒機（P-3C）を民間航空機に見立て、自衛隊と消防による負傷者の救出・救護、DMATによる緊急治療、近隣消防とドクターヘリによる医療搬送など、それぞれの役割について共通認識を高めることができました。

今後も良好な関係を維持し様々な災害に対し協力体制を強化していきます。



東西南北 安全運転競技会を開催 千葉市消防局

千葉市若葉消防署では、所属職員の機関員有資格者約100人により消防車両の安全、迅速的確な運行を維持し、交通安全に寄与することを目的とし、令和3年11月22日（月）から26日（金）にかけて、千葉市消防学校の敷地道路を使用し、安全運転競技会を開催いたしました。

競技は、所持免許区分により「大型消防車部門」と「救急車部門」に分かれ、緊急車両での走行を想定しスタート後、クランク、狭隘道路、S字を通過し、Uターン後に同じ道を引き返しゴールするまでの総合タイム及び安全性、適格性を採点し、最優秀、優秀、優良の賞を設けそれぞれ表彰することといたしました。

今回のように、職員間で運転技術を競う競技会は、消防局内においては初の試みであり、参加者は習熟訓練の成果を発揮しつつ、熱心に競技に取り組んでいました。



東西南北 「大規模災害現場活動研修会」を実施 柏市消防局

柏市消防局では、令和3年11月26日（金）大規模災害時の活動強化及び若年層世代の人材育成を目的に福島県・相馬地方広域消防本部から「東日本大震災」の発生時に、現場活動に従事した消防隊員を招き研修会を実施しました。

過酷な現場環境のなか人命救助等を行った生の声を聴講し、マスメディア等からの情報では知る事の出来なかった現場活動を知り、実りのある研修会となりました。

今後も各種研修会を行い、人材育成に取り組んでいきます。



東
西
南
北

『消防のおしごと』～仕事紹介編～YouTubeで配信中

君津市消防本部

君津市消防本部では、『動画で学ぶ救命講習』に続くYouTube動画第2弾として、職員たちの仕事風景経験豊富な職員や若手職員による志望動機や仕事のやりがいなどについてインタビューした内容など、消防署で働く人たちがどんな仕事をしているのかが丸ごと分かる仕事紹介編の動画『消防のおしごと』を作成・公開しました。



QRコード



東
西
南
北

歳末特別査察を実施

松戸市消防局

松戸市消防局は、令和3年12月2日(木)クリスマスや年末年始の繁忙期を迎えるに当たり、多くの人出が予想される大規模物品販売店舗である株式会社アトレ松戸店の歳末特別査察を実施しました。

査察は、消防局参事監兼中央消防署上場幸広署長が、消防用設備等の維持管理、屋内消火栓設備の操作方法や避難通路の確保等を確認し、従業員が火災予防及び防火管理体制の重要性を再認識することを目的として行われました。

消防職員が、日頃から防火管理に取り組んでいる従業員に対して火災発生時の対応確認を行ったところ、速やかに的確な行動ができており、「自分達の職場は自分達が守る」という自主防火管理の意識が、とても強く感じられました。



東
西
南
北

住宅防火対策の推進へ消防・教育・地域が一丸となって啓発を実施

成田市消防本部

成田市消防本部では、市内関係団体と協力して、火災予防広報事業を実施しました。

①成田市防火協会とは、市立の小・中学校のスクールバスに住宅用火災警報器の啓発広報用ボディパネル(全25台のボディ左右に2枚)を設置しました。

ゆるキャラ「うなりくん」をデザインに入れたことで、バスを利用する児童・生徒からも好評で、送迎に来る保護者の目にも留まりやすかったとのこと。

②成田市婦人防火指導員協議会とは、成田市ニュータウン地区を通る東西と南北を結ぶ主要道路に掛かる歩道橋2か所へ住宅防火啓発の横断幕を設置しました。ニュータウン地区の世帯数は約15,000、人口は約30,000人で、多くの市民へ広報することを期待できます。

成田市婦人防火指導員協議会会長からは「コロナで協議会の活動が十分にできていません。何か形を変えて火災予防広報をすることはできないでしょうか。」と提案があり、実施に至りました。

ボディパネル、横断幕とも火災予防運動期間だけでなく、年度末まで継続して設置することとなり、さらなる広報の効果を期待することができます。

